

トマト・ミニトマトを栽培する皆様にお願ひです

現在、トマト類を食害する**トマトキバガ**の発生が非常に多くなっています。昨年と比較すると、**40倍以上**確認されています。

トマトキバガは、幼虫がトマト類の葉や果実、その他ナス科の葉を食害する、南米原産のガの仲間です。日本では、2021年に初めて確認されました。**トマトの果実も食害**するため、収穫量が大きく減少する恐れがあります。

トマトキバガと、よく似たハモグリバエの見分け方

トマトキバガ

ハモグリバエ

トマトキバガ

- ・ハモグリバエより幅の広い食害痕
- ・幼虫は大きく、最終的に8mmになる
- ・フンは、決まった場所にする



トマトキバガ成虫
体長は5-7mm

©2022大分県農業研究部
病害虫対策チーム

フン

食害痕の特に細い部分

ハモグリバエ

- ・幅の狭い食害痕、特に細い部分がある
- ・幼虫は小さく、2~3mm
- ・食害痕全体にフンをする

トマトキバガの食害果実

- ・果実を食害した場合、**直径数mmの食害痕**が残ります。
- ・特に、**ヘタの周り**を多く食害します。



トマトキバガを見つけたら

- ・食害部分を取り、地中に埋める、ビニール袋に入れて枯死させるなど、**幼虫が出てこない処分**を行ってください。
- ・**農薬散布**を行える場合は、**ディアナSC**や**ベネビア0D**などを散布して、トマトキバガが増加しないようにしてください。

一斉防除へのご協力をお願い

- ・九重地域のトマト生産者は、**地域での一斉防除**を計画しています。
- ・地域一斉に防除を行うことで、**トマトキバガの数を効果的に減らす**ことができます。
- ・計画している時期と、農薬は以下のとおりです。

9月下旬 コテツフロアブル

- ・トマト、ミニトマトを栽培している皆様のご協力をお願いします。

玖珠・九重地域は、大分県でも有数のトマト、ミニトマトの産地です。

トマトキバガが大発生し、トマト生産者の収穫が大きく減少することを防ぐため、皆様のご協力をお願いします。

ご不明な点がございましたら、下記までお願いします。

連絡先：大分県 西部振興局 生産流通部（担当：山村）

TEL：0973-23-2217